

衛星データ統合活用実証事業費

平成30年度予算案額 1.5億円（新規）

事業の内容

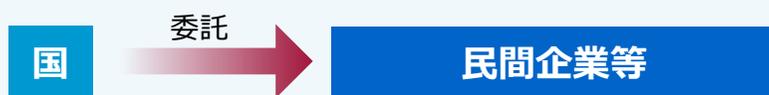
事業目的・概要

- これまでも衛星データを活用したアプリケーションが開発されてきましたが、衛星データ単体では多面的な情報としては十分であるとは言い難く、開発したものがビジネスとして実用化されることは限定的でした。
- 昨今、IT技術やAIの急速な発展により、多岐な分野に亘るビッグデータを統合して解析することで、新たなビジネスが出現しつつあります。衛星データについても、その質・量ともに向上を続けており、ビッグデータ解析の重要な柱のひとつとしての活用が期待されます。
- そのため、新たなアプリケーションビジネスを創出すべく、衛星データと地上データを統合し、ビッグデータのひとつとして活用するアプリケーションの開発・実証を行います。また、アプリケーションの活用先としてユーザー官庁や自治体等との連携も図ることで、実用化も推進します。

成果目標

- 平成30年から平成32年までの3年間の事業であり、最終的には12件のアプリケーションの開発を目指します。

条件（対象者、対象行為、補助率等）



事業イメージ

（1）事業の概念図



（2）準天頂衛星システムのアプリケーション事例 （高精度プローブ情報を活用した渋滞緩和システム）

